

令和2年度

事務事業評価表(令和元年度の実績評価)

記入年月日
令和2年4月21日

事務事業名		霞ヶ浦問題協議会参画事業					事業区分		担当	
							新規/継続	継続	事務事業No.	050801000224
							単独/補助	単独		
政策体系		政策体系上の位置付け							所属課	030301
総合計画の施策名		0508	生活環境の保全						生活環境課	
政策名		05	快適な暮らしのまちづくり					課長名		
施策名		08	生活環境の保全					グループ	環境公害対策G	
手段名		01	①環境問題の意識向上					担当者名		
		財務会計上の位置付け					事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計			
	01	04	01	04	01	00	単年度繰返し(昭和54年度~)			
法令根拠						公害対策事業				
							期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要(事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
霞ヶ浦流域住民の福祉の向上を目的に、流域21市町村で構成された協議会。本部事業、ブロック事業及び市町村事業に分けて事業を行っている。 霞ヶ浦水質浄化啓発事業・・・店頭やイベント等で啓発品の配布等 家庭排水対策推進事業・・・研修会や講演会の参加 霞ヶ浦地域清掃事業・・・霞ヶ浦流域市町村一斉に清掃活動を実施 環境学習型推進事業・・・桜川探検隊(桜川市・土浦市・つくば市・筑西市)による環境学習の実施 流域連携促進事業・・・桜川流域ブロック活動への参加 この他、霞ヶ浦流域河川水質調査・身近な水環境の全国一斉調査を実施し、今後の効果的な汚濁防止対策に役立てている。	①会議・研修会への参加。②企画広報委員会への参加。③霞ヶ浦の日、店頭キャンペーン・市民祭での水質浄化啓発活動の実施。④つくば環境フェスティバルへの参加。⑤河川一斉清掃活動の準備・実施⑥桜川探検隊への参加⑦桜川ブロック会議・桜川流域ブロック研修会への参加⑧市内河川水質調査の実施。⑨清掃大作戦拠点地区事業への参加。

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
会議、各種イベント等で身近な河川の水質浄化の啓発活動	会議への参加	回	8.00	8.00	8.00	8.00	8.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
市民	人口	人	40,483.00	39,692.00	39,571.00	38,957.00	38,343.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
霞ヶ浦に流れる川をきれいにしようという意識啓発	啓発事業(環境フェアイベント)	回	7.00	7.00	7.00	7.00	7.00
	清掃活動	回	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移

投入量	事業費	内訳	単位	30年度	01年度	02年度	期間限定 総投入量
				(実績)	(実績)	(計画)	
	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		使用料・手数料	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	307	303	299	0
		事業費計(A)	千円	307	303	299	0
	正規職員従事人数	人	3.00人	3.00人	3.00人		

01年度事業費実績(千円)

02年度事業費予算(千円)

事業費の内訳	01年度事業費実績(千円)	02年度事業費予算(千円)
19 負担金補助及び交付金	303	299
合計	303	299

事務事業名	霞ヶ浦問題協議会参画事業	事務事業No.	50801000224	所属課	生活環境課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
霞ヶ浦問題協議会は、昭和48年夏のアオコの大発生による養殖ゴイのへい死を契機として、同年9月に「霞ヶ浦問題研究会」として発足した。浄化対策事業を流域市町村と一体になり推進した結果、流域人口増加や産業活動の拡大化にも係わらず霞ヶ浦の水質はCOD7mg/L前後で推移している。(湖沼水質保全計画の目標値7.4mg/L)					
(5) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか？					
特になし					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 日本一きれいなまちづくりを目指す当市の政策体系と一致する。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 対象となる地域が霞ヶ浦流域市町村であり、桜川が流入していることから当然ながら桜川自体の水質の汚れは、直接的に霞ヶ浦の汚れに結びつく。霞ヶ浦の水質の問題は、桜川市民生活の足元から始まっていることを理解する。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない 水質浄化活動等を通じて、より多くの人へ啓発活動を実施する。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 霞ヶ浦流域の水質を改善・維持するため廃止・休止はできない。	
効率性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性がありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名
	<input type="checkbox"/> 余地がない 霞ヶ浦流域21市町村の事業であるため、統廃合の余地はない。
公平性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
	<input type="checkbox"/> 削減余地がない 必要最小限の費用のため、削減余地はない。
	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 負担金の算出根拠は、人口割・均等割であるため適正である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																			
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	霞ヶ浦の水質浄化に向け、生活排水の改善について市民に啓発キャンペーン等で呼びかけた。8月に霞ヶ浦環境科学センター夏祭りに参加し啓発活動を行った。2018年10月にはつくば市において第17回世界湖沼会議が開催され、3日間にわたり参加し、湖沼の水質保全について見聞を広めることができた。																			
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																			
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																			
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上 維持 低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上 維持 低下	コスト			削減	維持	増加				○						
成果	向上 維持 低下	コスト																			
		削減	維持	増加																	
			○																		
		(6) 事務事業優先度評価結果																			
		成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 9																			

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>